

話題 街に ひろう

「ガマの油売り」を 子どもたちが口上



1. 「おくのガマガール」のメンバー、2. ガマの油売り口上、3. 会場を盛り上げる和太鼓タヲの演奏



3月3日、牛久駅東口駅前で「第12回どんどん祭り〜ひな祭りスペシャル〜」が開催されました。

今回は、「女性アーティスト特集」として、牛久市出身のアーティストやタレントの桜塚やつくん率いるバンドなどが出演。また、「おひなさまコンテスト」も同時開催され、子どもたちによるダンスや和太鼓演奏、ガマの油売り口上が披露されました。各々の華やかで力のある演技に、会場からは拍手が湧き起こりました。

コンテストでは、「おくのガマガール」がガマの油売り口上を初披露し、見事大賞を取りました。「おくのガマガール」は、奥野小学校に通う3・4年生の松本みず穂さん、松本さくらさん、鬼頭星さん、岡本美弥さんの4人と牛久第二中学校の小山知佳さん、そして社会人の綾部みよさんによる計6人で活動しています。

同メンバーは、小坂町に住む綾部龍昭さんの指導の下、小坂団地区民会館で毎週練習に励んでいます。メンバーの綾部みよさんは「ガマの油売り口上を通して、地域や家族との絆を広めたいと思い、子どもたちに声を掛けて始めました。絆を大事に育てていきたいです」と話していました。

第5回いなしき味まつり



受賞した坂巻さんのライスコロッケ

1月25日、稲敷地域農業改良普及センターで「第5回いなしき味まつり」が開催されました。この催しは、稲敷地域の農家の女性たちが家庭の味を競うイベントで、今回のテーマは「米・米粉」。料理部門とお菓子部門で合わせて23点が出品されました。

審査の結果、牛久市の「グループ麦わらぼうし」の坂巻輝江さん(下根町)のライスコロッケが「米飯・そうざい部門」の人気投票賞を受賞。お孫さんが太鼓判を押すおいしさです。どの作品もレベルが高く、素材の良さを知っていてさすがの味!それぞれの家庭の温かさも伝わってくるようなコンテストでした。今回の受賞レシピを紹介するリーフレットは、市農業政策課内で配布予定です。

問い合わせ 農業政策課 ☎ 内線1521、1522

餅つきで地域交流

3月3日、つつじが丘区民館で「第4回つつじが丘ふれあいもちつき大会」が開催されました。この催しは、もちつきやレクリエーションを通して、子どもと地域の人たちが交流を図ることと、牛久第二小学校を卒業する6年生と4月に入学する新1年生をお祝いすることを目的に開催されたものです。

当日は、ふかしたばかりのもち米を子どもたちが大人たちの手を借りてきねでつき、きな粉もちと磯辺もちにしてみんなで食べました。6年生は「中学校へ行っても、勉強も運動も頑張ります。6年間ありがとうございました」とあいさつ。新1年生は自己紹介したあと、小学校の先輩たちからお菓子の首飾りを贈られ、地域の皆さんから拍手を受けていました。



首飾りを贈られ喜ぶ新1年生



認定書を手にする山中さん(写真右から2人目)

能楽師の山中さんが重要無形文化財能楽保持者として認定

2月14日、市内在住で今年流能楽師の山中一馬さんが市役所を表敬訪問しました。

山中さんは昨年、国の「重要無形文化財能楽」の保持者として文化庁から認定され、今年2月に認証式に出席しました。山中さんは「正直認定されるとは思わなかった。大変うれしいですが、一方で今後責任が重くなると思う。亡き師匠にも良い報告ができます」と喜びを語りました。

倉澤さん(女化町)が民間自治功労者表彰

2月10日、水戸市で茨城県市長会による「民間自治功労者表彰式」が行われ、女化町の倉澤和雄さんが表彰されました。

この表彰は、倉澤さんが昭和32年から現在までの54年間、統計調査員として地域の調査活動を熱心に行い、円滑な統計行政に対する永年の貢献が評価されたものです。この間、倉澤さんは国勢調査、農業基本調査、住宅統計調査など60もの統計調査の第一線で活躍し、地域住民からの信頼も厚く、統計の信頼性や正確性の向上にも寄与。さらに、牛久市青少年相談員として、地域の若い世代の健全育成にも力を注ぐなど、市政の各方面にわたり、多大な貢献をしています。



表彰を受けた倉澤さん

薬物乱用防止教室開催

2月14日、牛久荻崎ライオンズクラブが牛久小学校で「薬物乱用防止教室」を開催しました。



当日は、同クラブメンバーによる寸劇や映画上映、講話のほか、牛久警察署による講話を交えながら、近年、低年齢化・潜在化する薬物汚染の恐ろしさや正しい知識を子どもたちに訴えました。

公認審判員試験合格

牛久野球連盟所属審判員のうちから5人の方が、球技スポーツの中でも最も難しいとされる野球審判の試験に見事合格しました。

【1級審判員合格者】小野塚照雄、田中正、源田佳之(写真上から) 【2級審判員合格者】佐藤敏正、小野哲 (敬称略)



県民健康づくり表彰式

2月22日、茨城県庁で「県民健康づくり表彰式」が行われ、牛久市食生活改善推進員連絡協議会会長の松本典子さんが「健康づくり関係団体表彰」として、茨城県食生活改善推進団体連絡協議会会長から感謝状を贈られました。

同会は、地区住民に対しての生活習慣病予防のための料理教室、初心者男性料理教室などの食生活活動を通して、市民の健康な食生活を応援するボランティア団体です。

また、この日は、ヘルスロードの指定コースを重複しないで300km以上歩いた村松直克始さん(完歩賞)と、長年にわたり献血事業に貢献している(1000回以上)市民の方が表彰されました。



「健康づくり関係団体表彰」を受けた松本典子さん(写真上)と300km以上完歩した村松直克始さん(写真下)

シルバーリハビリ体操

3級指導士1回生が誕生



シルバーリハビリ体操 3級指導士養成講座を修了した1回生の皆さん

2月29日、シルバーリハビリ体操3級指導士養成講座を無事修了した1回生、21人が指導士の仲間入りをしました。すでに水戸市で講座を修了した57人に加え、指導士はこれで合計78人となりました。

この体操は、高齢者ができる限り介護を受けることなく、健康で生き生きとした生活が送れるよう県が推奨する介護予防体操です。

今後、うしくかつつ体操普及員同様、地域の重要な担い手として日々の活躍が期待されています。これからも自らの健康と地域の皆さんの健康のために、市内全域でシルバーリハビリ体操の普及と支援をしていきます！

ちょっと休憩 びれいく



牛久町・渡辺さん

短歌・俳句・山柳コーナー

風に舞い回り微笑む吊るしびな

田宮 岡村さん

桜咲き希望ふくらむ季節かな

栄町 増田さん

災害は近助の連帯助け合い

さくら台 月田さん

温顔は母親ゆずり暖かく

一人あきなうおうな美わし

久野町 匿名希望

「お早う」と友の笑顔が弾んでいる

破顔一笑「和の家」に来て

桂町 木村さん

夕茜炎の如く沈む日に

広野は静もり黒き影引く

刈谷町 中島さん

老いてなおつきることなし煩惱は

星に祈るか月に託すか

女化町 女化小町さん

塩引鮭の「旨のわかる」歳となり

今を生き来て父母の歳越え

岡見町 根本良子さん

このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。紙面の都合上、全てを掲載できない場合がありますが、今後もたくさんのお便りをお待ちしています。

あて先：〒300-1292 牛久市中央3-15-1 「広報うしくちょっと休憩」係

Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp